

# くるべ 古代歴史館へ 行こう!

歴史公園として整備を進めているくるべかんがいせき久留倍官衙遺跡のうち、ガイダンス施設「くるべ古代歴史館」が3月25日にオープンしました。浪漫あふれる久留倍官衙遺跡と、その歴史を楽しく学べる「くるべ古代歴史館」について紹介します。

## 久留倍官衙遺跡って?

国道1号北勢バイパスの建設に伴う発掘調査で確認された古代の役所の遺跡です。政庁を中心とする役所の建物群があったI期(7世紀後半~8世紀前半)、平面積200平方メートルを超える長大な建物を中心とする建物群があったII期(8世紀中ごろ~8世紀後半)、床を持つ構造の倉庫が複数整列して建てられていたIII期(8世紀後半~9世紀末)と、遺跡は大きく三つの時期に分かれています。日本の古代史解明の上で重要な意味を持つ遺跡として、平成18年に本市で初めての国の史跡に指定されました。

**魅力** 政庁(I期)から正倉院(III期)に至るまでの遺跡の全体像や変遷の様子が分かります。

**謎** 役所の建物は通常南を正面としていますが、久留倍官衙遺跡は東に向けて建てられており、全国的にも珍しい遺跡となっています。



**浪漫** 「壬申の乱」「聖武天皇東国行幸」といった歴史的な出来事の舞台であった可能性が指摘されています。



教えて! こにゅうどうくん

## 「壬申の乱」「聖武天皇東国行幸」って?

壬申の乱は、天智天皇崩御後の672年6月に起こった古代日本最大の内乱で、皇位をめぐる大海人皇子側と大友皇子側に分かれて争ったんだ。  
聖武天皇東国行幸は、740年に起こった藤原広嗣の乱のさなか、聖武天皇が東国(伊賀・伊勢・美濃)・近江・山背へ大行列で出掛けた出来事だよん。



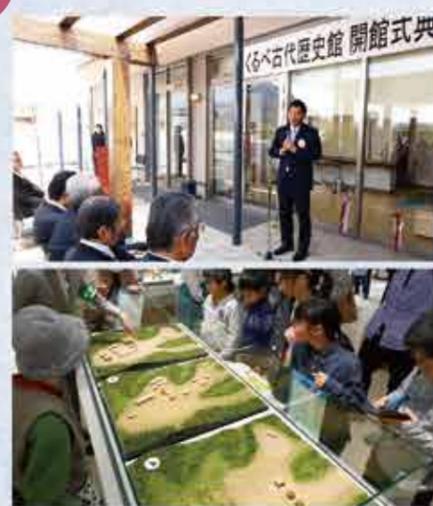
## 久留倍官衙遺跡公園案内図(完成予想図)



## くるべ古代歴史館では何ができるの?

展示で 楽しく 学べます

くるべ古代歴史館の開館日となった3月25日には、開館式典と一般公開が行われました。館内では、発掘調査で確認した建物群の変遷・性格を解説する「発信!朝明郡の情報センター」、古代の朝明郡の姿と役所で行っていた仕事を説明する「朝明郡と役所の仕事」、古代における二つの重要な史実と朝明郡、久留倍官衙遺跡との関連を紹介する「壬申の乱と聖武天皇の東国行幸」という三つの視点で展示を行っています。また、遺跡の出土品や模型、古代衣装の展示、映像などによって、久留倍官衙遺跡の魅力を発信しています。



古代の 体験学習が できます

くるべ古代歴史館では、いろいろな古代の体験学習ができるメニューを用意しています。墨で木の札に文字を書いたり絵を描いたりする「木簡体験」や、復元した古代衣装を着られる「古代衣装体験」、「手織り体験」、昔の道具を使った「火おこし体験」、「勾玉作り体験」、蹴鞠や双六を楽しむことができる「古代の遊び体験」など、さまざまな体験メニューを通して古代の生活に触れることができます(事前にお問い合わせください)。



## くるべ古代歴史館のご案内

- 開館時間** 9:00~17:00
- 休館日** 月・火曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日 ※臨時休館日あり
- 入館料** 無料
- 駐車場** バス3台、乗用車20台
- 所在地** 大矢知町2323-1  
☎365-2277 FAX365-2288



ホームページは [くるべかんがいせき](#) 検索